

## パロキセチン錠 5mg「FFP」の 無包装状態の安定性に関する資料

### 【はじめに】

パロキセチン錠 5mg「FFP」について、各種条件下で無包装の安定性試験を実施した。なお、本資料は本製剤の無包装状態での保存を推奨するものではない。

### 【試験結果概要】

無包装状態における安定性は、温度、湿度及び光の保存条件で、いずれの試験項目においても規格値の範囲内であった。しかし、温度及び湿度の保存条件で、規格内ではあるが硬度の低下が認められた。

### 【試験結果及び判定】

#### (1) 温度に対する安定性

【保存条件】40°C(±2°C)、遮光・気密ガラス瓶

試験項目	規格	経過年月			
		開始時	1ヶ月後	2ヶ月後	3ヶ月後
性状	割線入りの白色のフィルムコーティング錠	割線入りの白色のフィルムコーティング錠	変化なし ◎	変化なし ◎	変化なし ◎
溶出性 (%)	0.1mol/L 塩酸試液、60回転、30分、80%以上	83~99	98~100 ◎	98~102 ◎	98~99 ◎
含量 (%)	95.0~105.0%	98.5	98.2 ◎	97.8 ◎	98.3 ◎
硬度 (kg重)	(参考)	6.6	6.2 ◎	4.6 ○	4.9 ◎

## (2)湿度に対する安定性

【保存条件】25°C(±1°C)、75%RH(±5%)、遮光・開放

試験項目	規格	経過年月			
		開始時	1ヶ月後	2ヶ月後	3ヶ月後
性状	割線入りの白色のフィルムコーティング錠	割線入りの白色のフィルムコーティング錠	変化なし ◎	変化なし ◎	変化なし ◎
溶出性 (%)	0.1mol/L 塩酸試液、60回転、30分、80%以上	83~99	98~100 ◎	98~100 ◎	97~100 ◎
含量 (%)	95.0~105.0%	98.5	98.2 ◎	96.8 ◎	98.0 ◎
硬度 (kg重)	(参考)	6.6	4.0 ○	4.1 ○	4.0 ○

## (3)光に対する安定性

【保存条件】温度及び湿度は成り行き、気密ガラス瓶(無色)

試験項目	規格	総照度	
		開始時	60万 lux・hr
性状	割線入りの白色のフィルムコーティング錠	割線入りの白色のフィルムコーティング錠	変化なし ◎
溶出性 (%)	0.1mol/L 塩酸試液、60回転、30分、80%以上	83~99	94~99 ◎
含量 (%)	95.0~105.0%	98.5	99.6 ◎
硬度 (kg重)	(参考)	6.6	6.1 ◎

**[評価基準]****【性状】**

分類	評価基準	判定
変化なし	外観上の変化をほとんど認めない場合	◎
変化あり(規格内)	わずかな色調変化(退色等)等を認めるが、品質上、問題とならない程度の変化であり、規格を満たしている場合	○
変化あり(規格外)	形状変化や著しい色調変化を認め、規格を逸脱している場合	△

**【溶出性】**

分類	評価基準	判定
変化なし	規格値内の場合	◎
変化あり(規格外)	規格値外の場合	△

**【含量】**

分類	評価基準	判定
変化なし	含量低下が3%未満の場合	◎
変化あり(規格内)	含量低下が3%以上で、規格値内の場合	○
変化あり(規格外)	規格値外の場合	△

**【硬度】**

分類	評価基準	判定
変化なし	硬度変化が30%未満の場合	◎
変化あり(規格内)	硬度変化が30%以上で、硬度が2.0kg重以上の場合	○
変化あり(規格外)	硬度変化が30%以上で、硬度が2.0kg重未満の場合	△

**【その他の試験項目】**

分類	評価基準	判定
変化なし	規格値内の場合	◎
変化あり(規格外)	規格値外の場合	△

「錠剤・カプセル剤の無包装状態での安定性試験法について(答申)」平成11年8月20日付

(日本病院薬剤師会)一部改変